

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 地域スポーツ振興事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域スポーツ課 地域・パラスポーツ振興係 電話番号：058-272-1111(内2623)

E-mail：c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 23,641 千円 (前年度予算額： 23,641 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	23,641	0	0	0	0	0	0	0	23,641
要求額	23,641	0	0	0	0	0	0	0	23,641
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 平成25年度に県民に広くスポーツに親しむ機会を提供することを目的に、ぎふ清流国体・大会1周年記念イベントを実施。
- 平成26年度から、「清流の国ぎふ2020プロジェクト」の一環として、スポーツを通じた交流人口拡大や地域活性化を図るため、各種のスポーツ教室や体験イベントを実施している。

(2) 事業内容

- ぎふ清流郡市対抗駅伝振興事業 (継続事業)
10月第3週日曜日に開催される「ぎふ清流郡市対抗駅伝」の集客・広報事業
- F C岐阜活用広報事業 (継続事業)

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10 (県によりスポーツを通じた地域振興、地域の絆づくり、競技水準の向上を進めるものであるため)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	36	打合せ旅費等
印刷製本費	0	
消耗品費	959	地域スポーツ振興事業全体に係る消耗品費
役員費	30	地域スポーツ振興事業全体に係る役員費
委託費	22,616	ぎふ清流郡市対抗駅伝振興事業、FC岐阜活用広報事業
合計	23,641	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県清流の国スポーツ振興条例第9条
第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画

(2) 後年度の財政負担

平成25年3月に施行された「岐阜県清流の国スポーツ推進条例」の目的・基本理念にある「競技水準の向上に資する施策」「明るく豊かな県民生活の形成及び活力のある地域社会の実現」「地域の絆づくり及び地域の活性化」などを実現するための事業であり、今後複数年に渡り事業を継続する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

子どもから大人まですべての県民が生涯にわたってスポーツに触れ、親しみ、心身ともに健康で活力に満ちた生活が送れるよう、スポーツを通じた地域づくりを推進するため、ぎふ清流郡市対抗駅伝振興事業、一流アスリートによるスポーツ教室を開催し、スポーツ実施率の向上を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H18)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①スポーツ実施率	37.9%	49.1%	65%	65%	65%	75.5%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>新型コロナウイルス感染拡大に伴い大会中止</p> <p>指標① 目標：65.0% 実績：33.8% 達成率：52.0%</p>
令和 3 年度	<p>ぎふ清流郡市対抗駅伝振興事業においては、第11回大会を2019年（令和元年）10月20日に開催。大型モニターを使用しての実況中継や屋台村・PRブース等の当日参加イベントを同時開催し、約1,700名の来場があった。</p> <p>2021年（令和3年）に開催予定であった第12回大会は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から2020年（令和2年）に続き1年再延期（2年連続延期）することとなった。</p> <p>県産品PR事務費（消耗品費）においては、岐阜オープンクラシック（4月と翌年3月開催）で副賞を提供し、県産品のPRに効果があった（ツアーオブジャパン（5月開催）は中止）。</p> <p>指標① 目標：65.0% 実績：46.2% 達成率：71.1%</p>
令和 4 年度	<p>上記のとおり2年延期した第12回大会を2022年（令和4年）10月16日に開催。万全のコロナ対策を講じて安全安心な大会運営を行い、参加選手のモチベーション向上や県民への周知に取り組んだ。</p> <p>県産品PR事務費（消耗品費）においては、岐阜オープンクラシック（3月開催）で副賞を提供し、県産品のPRに効果があった（ツアーオブジャパン（5月開催）は縮小開催（岐阜は中止））。</p> <p>指標① 目標：65.0% 実績：49.1% 達成率：75.5%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清流の国ぎふスポーツ推進条例に基づいた取り組みであり、実施の必要性が高い事業である。 ・ 県が進める施策であるため、県が主催することが妥当である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅伝振興事業は、参加選手のモチベーション向上、県民への当駅伝に対する周知の効果が得られた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅伝振興事業は、前年度実績 (屋台村売上、選手・来場者アンケート) をもとに、業務内容の改善と効率化を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 駅伝振興事業においては、プレイヤーズセンタードの視点から参加選手に負担がかからないことを第一に、当駅伝大会の盛り上げを図っていく。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 駅伝振興事業において、平成28年度から大型モニターを使用した実況中継を行っている他、第13回 (令和5年) 大会では県庁舎完成に伴い、メイン会場を県庁車寄せ、ぎふ結のもりに変更したことで一体感が高まり、選手・関係者・観客からは好評を得た。集客性の高い体験教室の実施や実況中継の内容向上、屋台村・PRブースの改善を行い、引き続きプレイヤーズセンタードの視点から継続して実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	